



ペンネーム	ナツカン
【エピソードのタイトル】 人生初フルマラソン	
【エピソードの内容】 下関海響マラソン2010は、私にとって人生初のフルマラソンでした。 それ以来、マラソンに嵌ってしまい、今も走り続けています。 走る切っ掛けは、30年振りに再会した同窓生からの誘いでした。 「俺、マラソンしているんだけど、どう一緒に走らない？」 「無理でしょう、この歳になって！ 苦しいだけだよ」 確かに世間はマラソンブームだけど、高校を卒業して30年、運動をしてない私にとって、あり得ない行為だと思いました。 しかし、近所のハーフマラソン大会にエントリーした彼を応援に行った時、高齢のランナーが最後尾をフラフラになりながらゴールを目指している姿に感動し、自分も何かしなければと思うようになったのです。 最初は、5キロ、10キロ、15キロと走れる距離も徐々に長くなり、苦しい中にも小さな達成感を感じていました。 そして、彼から故郷の下関海響マラソンにエントリーしようとお誘いメールが届いたのでした。 一瞬、躊躇しましたが、途中歩いたって、棄権したっていいじゃないかと思い軽いノリでエントリーしたのです。 東京から3人の同窓生が故郷のマラソン大会にエントリーすることになりました。 それからは、地元の同窓生も参加して応援グッズ製作に盛り上がり、応援タオルと帽子が出来上がりました。 私は、マラソン大会の雰囲気慣れる為、9月にハーフマラソンに出場し、どうにか完走したものの、今の2倍の距離を走る事を想像したら恐怖を感じていました。 大会も近づき、練習にも次第に熱が入る様になり、10月は月間300キロを目標に走り込みをしました。 でも、フルマラソンはぶっつけ本番、未体験の距離を走破しなければなりません。 大会当日、東京から参加した同窓生ランナー3人が地元同窓生の応援を受けながら、42.195km先のゴールを目指して走り続けました。 私は後半、膝の痛みを我慢しながら走っていました。ゴールが近づくに連れ、これで走り切れるんだと思うと涙が溢れて来ました。ゴールした瞬間の感動は今でも忘れません。 その後、2回フルマラソンを完走しましたが、人生初のフルマラソン“下関海響マラソン2010”は特別です。 今年は、地元の同窓生もエントリーすることになり、多くの仲間と下関海響マラソン2011を楽しみたいと思います。	